

世の中にない“新しいモノ作り”にチャレンジする。

為房 純一

(FW 商品管理部 企画設計グループ チームリーダー / 商品企画(デザイン))



もっと生の声

Q & A

—— 嬉しかったことを教えてください。

2013年、2017年にグッドデザイン賞を受賞したことです。2013年受賞の商品は、東日本大震災の後から企画を立ち上げたもの。最小限のパーツを組み合わせたミニマムなデザインながら災害避難時に必要な機能性を備えています。柔らかさと丈夫さを、構造の工夫によって実現している点やポータブルシューズとしての日常使いを視野に入れたデザインが評価されました。2017年受賞商品は、屋根作業用靴「屋根やくん」。屋根作業において生じる様々な問題の確実な洗い出し的確な対策が評価されました。

—— 思い出に残っている仕事はありますか？

屋根の上で作業するという、現場に特化したニッチな商品「屋根やくん」を開発したことです。過酷な現場ですから、耐熱性・耐久性等、要求事項が厳しくて。靴の中に断熱材を入れているのですが、従来のものと比較してどれくらい耐熱性がアップできているか、トライアンドエラーの繰り返しでした。納得するまで商品にはできませんから、苦労しましたね。ただその分要求事項を満たした製品が完成したときは、安堵と達成感でいっぱいになりました。

—— こだわっていることはなんですか？

商品開発する上で、いかに快適に履けるかという機能性にこだわっています。「mandom」というブランドでは、ワーカー(作業着)が日々抱える「足元のストレスからの解放」をミッションに、通気性に特化したもの、軽量性に特化したものなど、機能性に富んだ商品がラインナップされています。将来的には、スポーツメーカーでは真似できないワーカーの足元のストレスを解消できるような革新的な作業靴を作りたいですね。

靴業界に絞って就職活動していたという為房さん。卒業論文では靴を研究し、靴の魅力をより深めていきたいと思ったそうです。「先輩が靴の卒業論文を書いていて、私がそれを引き継いで研究しました。今から考えるとかなりぶっとんだ発想の靴を考えましたが、夢がある企画だったと思います。」

会社では、ゼロから企画を立ち上げ、デザイン、サンプル作成から商品決定まで関わっているそうです。「大手企業は専門性が高い代わりに仕事の範囲が決まっていますが、丸五では企画から生産まで一貫して携わる事ができます。そこが丸五の強みでもありますし、ここなら自分のやりたいことができると思いました。」

実際に企画から生産まで携わっていると、自分自身色々なスキルが身についていると感じるそうです。「中国でサンプルを作成していますので、月に1回は中国に行っています。国際感覚が身につきますし、人としても幅広い知識や技術を身につけられると思います。今後も多様な情報を取り入れて、国の定めた靴の規格をも変えるような、世の中にない新しいモノづくりに挑戦してみたいです。」

